

環境政策部会（9 / 17）での意見に対する対応状況

徳島県環境審議会環境政策部会

平成25年9月17日（火） 徳島県庁10階 大会議室

主 な 委 員 意 見 等	計 画 へ の 反 映 状 況 等
1. 第2章3「5年間の取組」目標について、枠囲みの上の2項目を入れる意味がどこにあるか、すごく読みにくい。	1. 2項目を削除し、枠囲みのみとする。
2. 第3章 主要取組の展開について、県民が読むときわかりにくい。もう少し整理ができる気がする。	2. 本計画の体系における分類として、現在のままとしたいが、フォーラム等の機会を通じて説明・PRに努める。
3. 保全とかイノベーションでなく、簡単明瞭な言葉で呼びかけてほしい。	3. 普及のため日常的に使用しない用語も使用する一方で、わかりにくい用語については、資料編の用語解説を見ていただくことで対応したい。
4. 第2章3「5年間の取組」目標の枠囲みのところで、5年計画としての具体的なところを示すとともに、わかりやすい言葉に置き直してやる必要がある。	4. 明確な5年後のゴールを示すのは難しいが、目標となるよう手段的な部分を削除するなど、できるだけわかりやすくなるよう修正をした。
5. 徳島県は豊富な水があり、雨水の利用の方法もあるので、水利用のことについても入れてほしい。	5. 水利用に関して、第2章3「5年間の取組」目標に追加する。
6. 基本計画としてはガッチリしたものが必要だが、それにプラスしてパンフレットみたいなわかりやすい資料が必要。	6. 計画策定後フォーラム等でPRを行うとともに、概要版をできるだけ多く配布する。予算の関係もあるが、基本計画とは別にパンフレットの作成も検討する。
7. 複合的な計画の数値目標をまとめ上げたものを作れば取り組みやすい。	7. 資料編として、基本計画の体系別に整理した個別計画の数値目標一覧を掲載し、進捗管理を行っていく。
8. 温暖化推進員とか森づくりリーダーなどの取組を総合的にまとめあげてどう育成・活用していくかを基本計画で作ってほしい。	8. 基本計画の中では、具体的な手法までは書き込めないが、第3章 第7節 7-1-1「②人材の育成及びネットワーク化の推進」の中で進めていきたい。